



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



原発再稼働ストップ

8月1日＝長岡空襲から80年 “忘れてはならない夏の日”を語り継ぐ 平和を祈る長岡市の行事に参加を



長岡空襲殉難者遺影展 戦災住宅焼失地図展

6月29日(日)～8月31日(日)

午前10時～午後4時 長岡戦災資料館3階 学習室
(6/30、7/7、14、22、8/18、25は休館日です)



【8月1日(金)の行事】

①戦災殉難者慰霊祭

午前6時から(平潟神社)

②戦災殉難者墓前法要

午前7時から(昌福寺・四郎丸)

③平和祈願祭

午前8時～8時30分(平和の森公園)

④平和祈念式典

午前9時～10時(アオーレ長岡)

⑤平和フォーラム(アオーレ長岡)

午前10時15分～11時45分

⑥鎮魂手向けの花

午前10時～午後4時(アオーレ長岡)

⑦市民に送る映画の集い(アオーレ長岡)

午前10時15分～11時40分

アニメ「クロがいた夏」

⑧柿川灯籠流し(一之橋～追廻橋付近)

午後6時30分～9時30分

⑨慰霊の花火

午後10時30分から

7月27日、憲法を守る長岡地域共同センター第11回総会が開かれ、長岡戦災資料館館長の近藤信行さんが「長岡戦災資料館のあゆみと新資料館の移転」について記念講演されました。

①長岡空襲の概要

＊1945年7月20日、長岡市左近に模擬原子爆弾が投下され、4人が死亡。

＊8月1日午後10時30分、米軍B29による焼夷弾爆撃がはじまる。1時間40分に及ぶ空襲で長岡市街地の8割を焼失、1489人が

焼死しました。

②長岡戦災資料館の使命

＊戦後50年ころから、戦災資料館設置の要望や市議会での議論が始まる。

＊2003年7月、長岡市戦災資料館が開館。

＊2015年7月、戦災70年を期し、長岡市恒久平和の日条例を制定。「私たち長岡市民は長岡空襲により犠牲になられた方を悼み、悲惨な戦争の記憶を風化させることなく、平和の尊さを後世に語り継ぎ、広く世界に向けて発信していかなければならない」

＊長岡空襲を語り継いでいくための市民活動の場。

＊開館以来20余年に38万人が来館。今では年間2000人の小中学生が来館するなど、平和学習の拠点となっている。

＊所蔵資料は6000点。

新戦災資料館の開館予定

＊旧互尊文庫を改修し、約3倍の広さの戦災資料館として整備・充実して、2026年5月にオープン予定である。

参議院選挙で日本共産党の議席後退に落胆しつつも、打越さくらさんの当選と自公政権が少数与党になったことに希望が見えました。

しかし、改憲勢力が3分の2になったこと、分断をあり、発表した憲法草案には国民主権はなく、「核を日本に配備することが日本を守る。佐渡を独立国にして核兵器を超える超兵器を置く」など主張する参政党の暴論には断固抗議し、平和の日本を守らなければと強く思いました。今後の国会を注視していきます。

遠藤れい子の笑顔でファイト